

結果の要約

1 職業

鳥取県の15歳以上就業者数(304,548人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業」が86,315人(15歳以上就業者数の28.3%)と最も多く、次いで「事務従事者」が51,173人(同16.8%)、「専門的・技術的職業従事者」が39,986人(同13.1%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が4,420人(17.2%)増、「保安職業従事者」が183人(3.2%)増となっている。一方、「管理的職業従事者」が1,643人(17.7%)減、「運輸・通信従事者」が1,258人(11.9%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「事務・技術・管理関係職業」が32.4%と最も高く、次いで「生産・運輸関係職業」が31.4%、「販売・サービス関係職業」が24.1%、「農林漁業関係職業」が10.8%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」が1.9ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」、「農林漁業関係職業」、「事務・技術・管理関係職業」がそれぞれ2.0ポイント、0.6ポイント、0.2ポイント低下している。

「事務・技術・管理関係職業」 = 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」 = 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業」
「販売・サービス関係職業」 = 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」 = 「農林漁業作業」

2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は41.3時間で、職業大分類別にみると「保安職業従事者」が47.6時間と最も長く、次いで「運輸・通信従事者」が47.5時間、「管理的職業従事者」が44.7時間、「販売従事者」が44.0時間などとなっている。平成12年と比べると、「保安職業従事者」が1.9時間増となっている。一方、「サービス職業従事者」が2.2時間減、「販売従事者」が1.6時間減などとなっている。

3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が78,613組(夫婦数149,045組の52.7%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が34,339組(同23.0%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「農林漁業作業」である夫婦が9,418組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の12.0%)と最も多く、次いで夫と妻ともに「生産工程・労務作業」である夫婦が8,230組(同10.5%)などとなっている。

4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は56,809世帯(住宅に住む一般世帯205,828世帯の27.6%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は149,019世帯(同72.4%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が59,577世帯(同28.9%)、「女性のみ」の世帯が21,374世帯(同10.4%)、「高齢者と女性のみ」の世帯が11,872世帯(同5.8%)となっている。

図1 鳥取県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

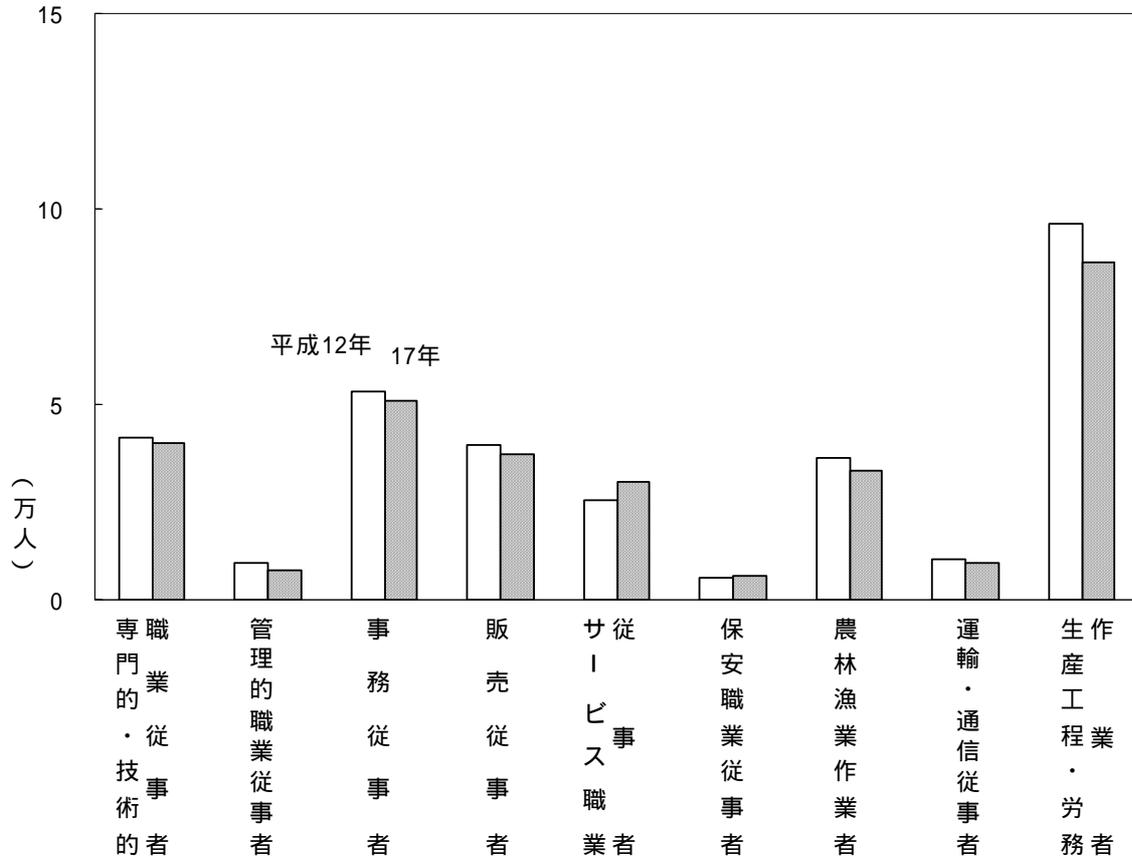


図2 鳥取県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

